

子育てと教育・福祉の充実をめざします

市会報告

神戸市会議員 (東灘区選出) **やのこうじ**

事務所：神戸市東灘区御影中町 2-8-3-207
 TEL/FAX 078-841-2255
 ✉ yano.koji2018@gmail.com
 市会議員団ホームページ▶http://rikken-kobe.jp/



市会議員団ホームページ


編集・発行：立憲民主党神戸市会議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

令和4年 第2回定例市会【9月議会】開催 日程（9月14日～10月25日）


引き続き新型コロナウイルス感染症対策や、コロナ禍における原油価格・物価高騰などに直面する市民・市内事業者への負担軽減を図るための補正予算（148億2,900万円）が議決されました。

今後はコロナウイルスとインフルエンザウイルスとのダブル感染症対策をはじめとする第8波への対応など、市民のみなさまの安全と安心につなげるとともに、引き続き意見反映に努めてまいります。

決算特別委員会・総括質疑（10月11日）



代表質疑の映像




議場で会派の代表質疑を務め、市長、副市長から見解を伺いました。

1. 移住施策について

質問 人口減少対策は重要であり、各局が連携し効果的に神戸の特色・魅力を訴求すべきでは。

市長 都心・三宮再整備や駅前リノベーションなど、まちの質を高める施策や子育て施策、神戸の魅力や暮らしやすさを訴求するプロモーションに取り組み、転入促進につなげていきたい。

要望 転入促進を図るためにも、住宅支援で東灘・灘・中央区と、他の6区との区別を設けるのであれば、プロモーションや子育て支援の充実によって全市的な公平性が保たれることを強く要望する。




こうべぐらし応援補助金



2. 女性活躍の躍進について

質問 保育機能のある利便性の高いコワーキングスペース※を、各区に設置するなど、拡充をさらに図るべきでは。
 ※コワーキングスペース…基本設備を共有しながら仕事をする場所

副市長 一時保育利用者の要望を踏まえ、生後6か月から無料で預かっている。最近では早くから予約が埋まる日も多いため、10月からは予約枠を最大9人まで追加して受入れを行っている。



女性向けコワーキングスペース

要望 例えば、六甲アイランドから中央区にあるコワーキングスペースまでは交通費もかかり、遠くて諦めてしまう可能性からも増設をお願いしたい。

3. ひとにやさしいまちづくりについて

質問 身体障害者や高齢者がエスカレーターを安心して利用できるような取り組みを進めることは、人にやさしいまちづくりの理念実現に合致し、安全で快適に施設を利用できる環境づくりにも寄与すると考えるが。

副市長 様々な人が利用することを十分に認識し、エスカレーターを含めた各設備を安全に利用いただけるよう、周知・啓発に努めていきたい。



要望 「もっと人にやさしい神戸・三宮」のフレーズだけでなく、例えばハーバーランド、西神中央、神戸新交通など、市の所管する施設のできるころから、取り組みを頑張っていたきたい。



地下鉄海岸線和田岬駅の注意喚起

4. 多井畑西地区における子どもの遊び場について



多井畑西地区・里山の保全・活用

質問 スピード感を持って計画の策定段階から、様々な方に積極的に参画していただくことが重要と考えるが、今後どのように進めていくのか。

市長 令和4年度末を目標に、具体的な取り組み内容や主体、ロードマップなどを定めた実施計画を策定していきたい。

要望 甲子園球場1個分の都市部にまとまった自然が残っているこの地区に、神戸の子どもたちに大人気となるような施設も設けていただきたい。



5. 職員のキャリアアップに向けた風土の醸成について



神戸市クレド

質問 1人でも多くの職員が意欲と熱意を持ち、自身のキャリアアップに挑戦する風土の醸成が必要ではないか。

副市長 キャリア形成支援に関する制度の拡充とともに、キャリアアップに挑戦する風土の醸成の両面の取り組みを進めていきたい。

視点 「私たちは、神戸のまちに、神戸のひとに、進取の気風に、愛着と誇りを持ち、神戸の今、そして未来のために、行動します」
神戸市クレド（神戸市職員の志）にある理念から、私もよりよい神戸のまちにしていきたい思いで努めてまいります。

決算特別委員会・局別審査

日程（9月26日～10月5日）

第1分科会において、以下の5つの各局に対し質疑を行いました。質疑の様子は、記載のQRコードからご覧いただけます。

行財政局への質疑（9月26日）



質疑の様子

1. 戦略的（分かりやすくタイムリーな）広報について

質疑 本市の事業、施策をいかに市民、事業者等、情報を届けたいターゲット層に適切に知ってもらうかが重要であり、今後どのように戦略的に広報を行っていくのか。

答弁 お伝えするターゲットや目的に合わせて、デザイン、発信内容を検討し、様々な手法をうまく組み合わせることで、これまで以上に戦略的に広報に取り組みたい。

要望 行政の文章は、内容的にも量的にも難しいという市民からの声が多く届いている。より分かりやすくタイムリーな情報発信を引き続きお願いしたい。

要望 モニターの数を増やすには、デジタルギフトなどのインセンティブを増やすことも大切である。市民の声が多ければ多いほど、良い施策につながっていくことから、引き続き取り組み願いたい。

2. ネットモニター制度について

質疑 より多くの市民の方から意見や提案を取り入れ、市政に効果的に反映させるために、例えば登録者数を神戸市人口の1%である1万5,000人を目標に増加を図るべきでは。

答弁 この制度が果たしている役割を、多くの方に知ってもらうために、アンケートの結果を実際に施策に反映したものを、ホームページ等で公開するなど積極的にPRをして、登録者数のさらなる増加につなげていきたい。



神戸市ネットモニター募集

3. 留学生支援の取り組みについて

質疑 外国人留学生は、将来様々な分野において神戸と母国のかけ橋となる貴重な人材であることから、国際都市神戸として留学生支援をさらに充実すべきでは。

答弁 今後も留学生の実態把握に努め、ニーズを拾い上げながら、留学生の方の神戸での生活を充実させ、神戸に引き続き関わってもらうための取り組みを充実させたい。

要望 将来には神戸空港が国際化し、神戸のまちに留学生がさらに増えてくる。留学生の方たちが、経済的にも苦勞せずに学べる環境やサポートの提供を、お願いしたい。

世界と空でつながる！ 神戸空港が国際化に

<今後の予定>

- ・国際チャーター便の解禁（2025年）
- ・国際定期便の就航（2030年前後）



企画調整局への質疑（9月27日）



質疑の様子

1. KOBE学生地域貢献スクラム*を通じた学生への神戸の魅力発信について



KOBE学生地域貢献スクラム

質疑 学生が個性を生かしたチャレンジができる機会を増やし、神戸の魅力を知ってもらえるような実施方法を工夫していくべきではないか。

答弁 学生の皆さんが神戸の地域社会や多様な地域課題にダイレクトに接し、その解決に向けて、主体的な参加を促進する機会を充実させ、神戸の魅力を継続的に発信し、学生の市内定着につなげていきたい。

要望 大学の集積都市で2,100人が参加し、9割の学生が満足していることから、非常に良い取り組みである。引き続き神戸の目玉として続けていただきたい。

*KOBE学生地域貢献スクラム…学生が継続的な社会貢献活動に参加する機会を作り、急激な人口減少・高齢化に伴い発生する社会課題や地域課題の解決支援を目的にしたもの。

2. 行政手続きのスマート化における高齢者対策について

質疑 高齢者などの手続きをサポートする体制を設けるとともに、高齢者が自分自身で手続きができる機会をさらに充実させるべきでは。

交通局への質疑（9月29日）

1. 駅スペースの活用の利便性向上について

質疑 乗降客数が多く、需要のありそうな駅スペースを有効に活用し、自動販売機の設置を増やしては。

答弁 附帯事業収入の増加や、駅の魅力向上からもどんどん進めていき、食料品の自動販売機設置も含め前向きに取り組みたい。

要望 魅力的な自販機を設置し、駅の活性化や人流集客増につながるよう、前向きな検討をしていただきたい。

2. 駅のリノベーションにあわせた神戸市電の展示について

質疑 駅のリニューアルにあわせて、神戸市電の車両や物品を展示することで、駅の利用者が新旧の歴史を感じ、駅の活性化や利用客の増加にもつながるのでは。

答弁 交通局の財産、歴史的な遺産である市電活用の視点は、非常に大事だと認識している。引き続き研究をしていきたい。

要望 近い将来には、山手線も50周年を迎える。かつて「東洋一の市電」といわれていた歴史的な神戸の財産を、残す方向で検討していただきたい。



小寄公園に展示中の神戸市電

答弁 高齢者等のデジタル弱者の方が、身近な場所で支援を受けられる環境を適切に構築し、スマホ教室のようにデジタル機器に親しみを持ってもらえる機会など、全ての市民がデジタル化の恩恵を受けられるように進めていきたい。

要望 だまされて、結局なけなしの財産を失ってしまう事犯の事例もたくさん出ている。市民の財産を守るためにも、特に高齢者の方への関わりを引き続きお願いしたい。

3. マイナンバーカードの普及促進について

質疑 マイナンバーカードを使った市のサービスをもっと増やせないか。

答弁 令和5年1月末から、図書館において本の貸出しをマイナンバーカードでできるよう準備を進めている。市民によりカードの利便性を感じていただける施策を検討していきたい。

要望 以前に10万円の給付金の際に、市民からの封筒を全て手作業で開封し処理することがあった。これは莫大な事務量になるので、ぜひとも普及促進を進めていただきたい。



質疑の様子

2. 定期券の購入の混雑緩和について

質疑 新学期が始まる4月は、通学定期購入の学生などが販売窓口で長時間並んでいるが、どのような混雑緩和対策を実施しているのか。

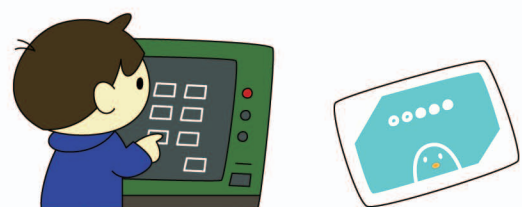
答弁 3月に発行される合格証明書で購入できる取扱いや、混雑予測カレンダーの掲載を通して早期購入、分散来場を促している。

再質疑 定期券購入者の利便性向上の観点からは、将来的にWEB上で決済まで行えるようにすべきでは。

答弁 JR西日本が来年の春からICOCA*でモバイル定期を導入する動きがある。お客様の利便性の向上という観点で、しっかり研究していきたい。

要望 私もSuica*を携帯電話に入れているので、上京の際には便利さを感じている。デジタルの時代に、お客様の利便性がより高まるよう取り組みをお願いしたい。

*ICOCA・Suica…鉄道、バス、お買い物などで使えるJR西・東日本の各ICカードの名称。



都市局への質疑（9月30日）

1. 六甲アイランドの活性化について

質疑 神戸ファッションプラザ内の映画館跡地を、多目的に使ったイベントを開催するなど、ビルの民間所有者とも連携しながら、さらに取り組むべきでは。

答弁 毎月定期的に意見交換を行うなど、市とビル所有者が連携したテナント誘致の強化を図っている。ご提案のイベント活用等についても、ビル所有者と連携して検討していきたい。



要望 AOIAの跡地活用や足湯も、島民の方が楽しみにしておられます。引き続き「六甲アイランドのまちの賑わい創出」を、お願いしたい。

2. 阪神電車の連続立体交差事業における沿道環境の整備について

質疑 駅を中心として交流や賑わいが生まれる空間をめざし、市民の憩いの場となるよう、今後具体的に取り組むを進めていくのか。

答弁 地域の皆様や阪神電鉄ともよく連携しながら、高架下の整備も含めて、賑わいのある空間づくりに努めていきたい。



要望 高架下には、例えば阪神電車の車両を置いて鉄道公園にしたり、深江の商船のつながりや歴史も感じられるような、魅力的な場所になることを願っている。



質疑の様子

3. 都心からのウォーターフロントの回遊性の向上について

質疑 ポートループの観光での活用を打ち出しながら、さらなる利用者増に取り組むべきでは。

答弁 神姫バスや神戸観光局などと連携しながら、観光面での活用について積極的にPRをして、ポートループの利用者増に取り組んでいきたい。



要望 ポートループは、ただ単に人を運ぶだけではなく、来街者を神戸の魅力的な場所（ウォーターフロントなど）へお連れする、観光の要素も強化していただきたい。

再質疑 今後の神戸空港の国際化も見据えバスを増便し、飛行機と新幹線の接続の利便性を向上させるべきでは。

答弁 広域交通ネットワーク形成の観点からも重要であり、スピード感を持って積極的に検討を進めたい。

要望 新神戸駅は全ての新幹線が止まる駅であり、神戸空港との南北アクセスが高まれば、神戸近隣からの利便性も向上する。時刻表を気にせず、安価な値段で利用できる体制づくりも考えていただきたい。

建築住宅局への質疑（10月4日）

1. 空き家・空き地の活用について

質疑 不動産事業者が見落としている隠れた優良物件を、効率よく把握し市場流通につなげられないか。

答弁 首都圏などでは、隠れた優良物件の掘り起こしをする民間ビジネスがあり、そのような仕組みを市内で展開できないか、民間事業者や他自治体との情報交換も始めている。

再質疑 建築家との協働による空き家活用促進事業※の今後の広報戦略について、どう考えているのか。

答弁 例えば改修前後の写真を使った紹介記事や打合せ、工事の様子及び関係者のインタビューを交えた動画を、ウェブ公開やインターネット広告などを用いて、より効果的な情報発信に努めていきたい。

要望 デザインの力で単なる空き家だった物件が、魅力あるものに再生され、人が集まる好循環が生まれることを大いに期待したい。

※空き家活用促進事業…建築家との協働により空き家を魅力的に再生し、社会課題解決の取り組みに活用するための、改修にかかる費用補助。【令和4年度の受付は終了】

2. 適切な管理が行われていない空き家の老朽化について

質疑 空き家を放置すると破損や傷みが進み、所有者にも、指導する立場の神戸市にも負担が増える。対策の初動を早める取り組みができないか。



空き家等活用相談窓口

答弁 今後も使える空き家は、すまいるネット空き家等活用相談窓口や、空き家おこし協力隊の利用促進を図るとともに、使えない空き家は、全国でも例を見ない規模の解体補助制度の活用促進に努めたい。

要望 病気と同じく早期発見・早期治療が、市の行政代執行の数を減らし、予算を大切に使うことにもつながる。引き続き頑張ってください。

3. 市営住宅のマネジメント計画について

質疑 神戸を見違えるまちへと転換するためには、市営住宅の印象を見違えるように改善することも必要だと考えている。今後の取り組みの方針について伺いたい。

答弁 エレベーターの設置に併せて、劣化した外壁改修を行う予定である。周辺の景観に調和しつつ、画一的にならないよう、外壁の色彩や照明、植栽、ベンチ等の外構デザインなどに配慮し、印象をできるだけ改善できるように検討したい。

要望 以前に、新しく建て替えられた市営住宅に寄せていただいた。現在年配の方が多く住んでいる市営住宅で、5階まで階段を上るのは本当に大変である。エレベーターもあり利便性の高い美しい部屋に、早く住み替えができるようお願いしたい。

